

磐舟

いわふね

広報 第121号

平成23年12月15日

発行 広報編集委員会



39・地震 明神橋上



42・羽越水害 八日市

穏やかな海でさえ

暖か過ぎた十一月も今月に入って打って変わっての冬型。月初めの寒さと暴風はあのまま冬へ入るのかと心配された。今日(六日)の海は穏やかで久方振りに粟島もくつきりと見えた。物静かさを感じる中に釣り人さえ一人もおらず、夏の三原色で賑やかだった浜辺とは想像もつかない。

細長い岩船の町は、海岸と平行しているので、あの眩しい夏の太陽も、冬のシベリア風も平均に行き渡る。特に真冬の吹雪は真横の一直線、「おすそ分け」をしてやりたい程。でも最近では吹雪どころか、海津波に関心を持つ人が多く身の安全を考える事の大切さが話し合われる様になった。

新潟地震の時でさえ、常水面より三メートルもの高さの津波があり、ましてやその三年後の羽越水害など、岩船の生々しい現場を捉えた写真集まで広報磐舟で今復刻版を出したばかり。当時の体験者も今や七〇代、忘れられようとした今日、気の毒にも東日本のあの惨事、身の安全を確かめる意味でも当時の現状の記録写真を囲み話し合える事を望みたい。

文化・芸術の祭典

岩船地区文化祭開催



文化の日である11月3日、改装された岩船小学校の体育館を会場に、恒例となりました「岩船地区文化祭」が開催されました。今年も小学校の展覧会と同時開催ということもあって、子どもから大人まで約1500名の来場者がありました。

一般作品の展示のほかにも中学校・保育園の子供達や各団体からの出展もあり、来場者の目を喜ばせました。また、試食・販売コーナーや生け花の体験コーナーもあり、会場は文化・芸術のオンパレードといった状態。たくさんの方々が会場は常に賑わっていました。

今回の特別展は、「新潟地震・羽越水害」をテーマに、映画の上映や当時の岩船の状況写真が展示され、当時の被害の状況を見て、皆さん驚愕していました。

来年も今年以上に、皆さんで岩船の文化祭を盛り上げていきましょう。



生け花体験の様子



岩船中学校の「木札」の展示

御礼
ご出展いただきました皆様及び各団体の皆様、そしてご協力いただきました関係者や地区の皆様のおかげで大盛況のうちに幕を閉じることができました。誠にありがとうございます。

岩船地区文化祭実行委員会



特別展の様子